

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き一般質問を行います。

次に、2番議員の一般質問を許します。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） 傍聴者の皆様には午後からありがとうございます。議席番号2番、伊藤一八です。

通告に従いまして一般質問をいたします。

近年、他自治体では公用車をカーシェアリング化し、観光客や地域住民に貸し出すことにより、地域の新たな移動手段となり、休日の車両の遊休時間を減らすなど効率的な利用が進められています。

本町においても、町が所有する資産の有効活用をどのように図るかは大きな課題であります。特に公用車については、平日日中の職員利用が中心であり、夜間や休日は使われていないことが多く、稼働率が決して高いとは言えないのが現状です。

そんな中、県内では湯沢市で昨年7月から12月に試験導入をし、今年度からカーシェアリング事業を本格導入し、休日に観光客や地域住民に貸し出しを行っています。

近年では、ICTの活用により車両の予約や管理も容易になり、自治体においてもカーシェアリングを導入する事例が全国的に広がりつつあります。公用車を職員のみの移動手段にとどめず、観光客や地域住民の移動手段として活用していくことは地域活性化に繋がり、観光面での利便性向上にも資する可能性があります。

巡回バスやJR五能線の本数が少ない当町でも地域住民の新たな足となり、観光客の誘客にも繋がると思いますが、以下の3点を踏まえ、町長の考えを伺います。

本町の公用車の台数、稼働状況について。

共同利用による有効活用の可能性について。

本格導入に向けて、今後試験的に事業を実施する考えは。

以上であります。よろしくお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。
堀内町長。

○町長（堀内満也君） 午後もよろしくお願いいたします。

それでは、伊藤議員のご質問にお答えいたします。

カーシェアリングは、登録を行った会員間で自動車を共同で使用するサービスであり、携帯端末のみにより予約申し込みや車両の施錠と開錠、使用料の決済ができ、レンタカーに比べて手軽に利用できることが特徴となっております。

近年は、企業のほか、自治体においても取り組みが進んでおり、町としましては観光客の移動手段として提供することができれば、観光振興や誘客に繋がる可能性があると考えております。

県内の自治体では、湯沢市において今年４月から、市がリースしている公用車１台を湯沢駅前に配置しており、８月末までに９件の利用実績があったと伺っております。

一方、町には、令和７年６月末現在において１１８台の公用車があり、このうち建設機械等の特殊車両や貨物自動車、バスを除き、一元管理を実施している公用車の台数は１８台であります。

また、令和６年度の月平均稼働日数は約１２日となっており、稼働状況だけを見れば、公用車によるカーシェアリングを行うことは十分可能と考えます。

こうしたことから、町では、公用車のカーシェアリングの導入について、事業者である株式会社トヨタレンタリース秋田と６月に協議を行ったところであります。

事業者からは、使用料は事業者の収入となる一方、通常は事業者が行う対象車両の専用駐車場への移動、車内の清掃や洗車、給油等のメンテナンス作業を町で行うことが提案されるなど、町にとってメリットが少ない内容でありました。

しかしながら、さらに協議を重ねた結果、事業者が企業としてカーシェアリングの普及を図ることを目的に、今年７月中旬から１１月中旬までの期間、ハタハタ館前に１台を試験的に配置していただけることとなりました。

町といたしましては、このカーシェアリングサービスは、鉄道を利用する観光客にとって、あきた白神駅を起点とした観光ルートの可能性を大きく広げるものであり、期待をしているところであります。

現在は町のホームページにサービスの概要を掲載し、周知を図っているところでありますが、今後も様々な媒体を活用して利用促進に努めるとともに、事業者によるカーシェアリングを継続していただけるよう、事業者に働きかけてまいりたいと考えております。

以上であります。

○議長（皆川鉄也君）　２番議員、再質問ありませんか。２番伊藤一八君。

○２番（伊藤一八君）　前向きな答弁いただいてありがとうございます。

まず、トヨタレンタリースでハタハタ館の駐車場を利用してカーシェアリングを今試験的に導入しているとのことだったんですけれども、現在２か月ぐらいたった今の利用

状況の実績とか、今後11月までの利用状況、企業から情報提供を受けれるのか、お聞きしたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の再質問に対し、答弁を求めます。成田商工観光課長。

○商工観光課長（成田拓也君） ただいまの伊藤議員のご質問にお答えいたします。

ハタハタ館の方に事業展開しているトヨタレンタさんの方に昨日までの実績で伺ったところ、1件のみとなっております。

設置期間は11月下旬ということで、それまでに町の方でもハタハタ館と連携しながらPRの方、努めてまいりたいと考えております。

○議長（皆川鉄也君） 2番議員、ほかに質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） このトヨタレンタさんがやっているような民間の取り組みを、町の交通政策として今後どのように連携させていくのか。例えば、町が積極的に情報を住民に提供、周知する。また、公用車のカーシェアリング化を検討する際に、企業のノウハウやシステムを活用するといった協働の可能性についてお聞かせください。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） これから、まあ先ほど課長が答弁したとおりですね、まあこの2か月でまだ1件しか利用実績がないということなので、果たしてそれほど利用がなかったのかなって今思っておりますけど、ただ一方ですね、今年から急に決めた話でありましたので、なかなかその観光客向け、そしてまた当然ながら住民向けにも周知は行き届いてなかったかなというところもあります。引き続きですね、事業者側に対しましては、是非ともね来年度以降もやっていただけるようお願いをしてみたいと思っております。

また、それを、今はその事業者側が用意してる車でありますけども、これを公用車にするといった場合もですね、いずれにしてもその利用がなければなかなかそこに配置してもですね、手間ばかりかかってあまり効果がないということでもありますので、そういったところを総合的に判断しながら対応していきたいと思っています。

○議長（皆川鉄也君） ほかに再質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） まず今、民間が導入しているってということで、こういう時こそ積極的にその事業に関与して、将来的な導入の是非の判断をするための実証的な取り組み、例えばホームページ以外でも町の公式LINE等とかを発信して利用促進や周知活動を

行うことはあまり町の負担にもならないと思うし、実証効果を高めることもできるのではないのでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 議員おっしゃるとおりでございます。今現在はですねホームページにのみでございますけれども、町の公式LINE等を使いながらですね周知を図ってまいりたいと思います。

またやっぱりですね、我々もターゲットを今、観光客に絞っているところでございますので、またあそこ、JRの駅でございますから、JRさんとかそういったところとも連携していきたいなと思っています。

○議長（皆川鉄也君） 2番議員、ほかに質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） まず今、試験導入ということですので、その可能性とか早い段階で町とも共有できると思います。それで将来判断ししっかりできると思います。

最後に、企業が導入を行ってる今の機会、本当前向きに生かしていただいて、町が関与することで課題や可能性を解決して、公用車のカーシェアリング化、利用者の皆様にとってもより安心して利用できる移動手段、町民にも利用できる新たな移動手段になるような考えを持って続けていってもらいたいと思います。将来の町の交通政策を見据えた無理のない範囲で構いませんので、町として一歩踏み出した姿勢を示していただければなと思っております。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） これらの機会をですね町の観光振興に繋がるチャンスと捉えておりますので、引き続きですねアンテナを高くしながら様々な情報をキャッチして、そしてまた町の活性化に繋がる取り組みとして今後も継続できるように、しっかりと働きかけてまいりたいというふうに思っています。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） 2番議員、再質問ありませんか。

○2番（伊藤一八君） ありません。

○議長（皆川鉄也君） これで2番議員の一般質問を終了いたします。